

# 電 力 情 報

NO. 77

平成22年11月25日

東 北 電 力 ( 株 )

## 10月分の電力需給実績について

### 1. 電力需要について（表 - 1 参照）

10月分の販売電力量は、64億1,200万kWh、対前年比102.8%の実績となりました。用途別の実績は、以下のとおりです。

#### 特定規模需要以外の需要（自由化対象以外のお客さま）

電灯は、9月中旬までの高気温による冷房需要の増加があったものの、前年よりも検針期間が短かったことなどにより、対前年比99.6%と前年を下回る実績となりました。

特定規模需要以外の需要の合計では、対前年比99.6%の実績となりました。

#### 特定規模需要（自由化対象のお客さま）

業務用電力は、9月中旬までの高気温による冷房需要の増加などにより、対前年比102.9%と前年を上回る実績となりました。

特定規模需要の合計では、対前年比104.4%の実績となりました。

なお、産業用その他電力については、大口電力が大きなウエートを占めており、その概要は以下の参考のとおりです。

### [参 考]

#### 大口電力

大口電力は、生産回復の動きに加え、平成21年10月分が大きく前年実績を下回った反動などから、対前年比104.7%の実績となり、11カ月連続で前年実績を上回りました。

## 2. 供給力について（表 - 2 参照）

10月の発受電電力量の合計は70億6,000万kWh、対前年比102.2%の実績となりました。

### （自社水力）

降水量が少なかったことから、出水率88.4%の渇水となりました。

発電量は、前年を800万kWh上回る4億6,300万kWhとなりました。

### （自社火力）

需要の増加などにより、発電量は前年を2億5,300万kWh上回る33億8,800万kWhとなりました。

### （自社原子力）

前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を2億500万kWh上回る18億5,400万kWhとなりました。

### （自社新エネルギー等）

地熱発電所の前年との運転状況の違いにより、発電量は前年を1,700万kWh下回る6,900万kWhとなりました。

### （他社受電）

他社発電所の前年との運転状況の違いなどから、他社受電合計では前年を4億1,500万kWh下回る14億3,600万kWhとなりました。

電気関係報告規則等の一部を改正する省令（平成22年3月31日 経済産業省令第20号）により、発電量等に関する国への報告様式が変更になり、新エネルギー等（風力、太陽光および地熱）の発電量は別掲することとなりました。これにあわせ、当社の報道発表資料につきましても、地熱発電の発電量を「自社新エネルギー等」として別記しております。

以上